

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	居心地のよい共用空間づくり	共用空間は、季節感を出した演出やくつろげる場となるようなソファの設置などを行なう。	廊下や空きスペースを利用して、椅子やソファなどのくつろげるような家具の配置を行い、利用者様がリラックスできる空間を創出する。	3ヶ月
2	54	居心地よく過ごせる居室の配置	自宅の家具や、筆筒、鏡台等の家にあった道具を持ち込むことで、自分の家のような生活観のある居室作りを行い、生活に安心感と居心地良く過ごせる空間を作りたい。	ご家族に趣旨を説明し、ご本人様の愛用の品等を持ってきていただき、居心地の良い空間を創造する。	3ヶ月
3	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	看取りに関する職員研修マニュアルの整備や往診のできる医師との協力関係の取り組みなど、利用者が最後まで事業所で過ごせる環境を整備する。	マニュアル整備と往診のできる医師を探すなど、環境を整備する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月